

「道徳の時間」学習指導案

- 1 学 年 第6学年1組 32名
- 2 主題名 短所に向き合う 内容項目 A－個性の伸長
- 3 教材名 鈍足バンザイ！ (出典：「みんなで考える道徳」日本標準)

4 主題設定の理由

- 昨今は、非常に変化の激しい社会であり、児童を取り巻く状況は日々進化し続けている。児童が自分自身の課題を見付け、それを改善し、たくましく生き抜こうとする力がより一層求められる。「個性」とは、個人特有の特徴や性格である。また、「伸長」とは、自分の長所に目を向けて現状を維持・向上し続け、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことであり、短所も自分の特徴の一側面であることを自覚し、それを改善していく努力を重ね、自分自身を伸ばしていくことである。これらの要素は、児童が生きていく上で重要な役割を果たす。

この時期の児童は、他との比較において、自己の価値付けを行うことが増えてくる。また、社会性を身につける一方で、自己表出においても、自己抑制が見られるようになってくる。特に人前に立って話したり、面識のない人と関わったりする場面においては顕著であり、自ら進んで挙手をしたり行動したりすることに対しては消極的である。これから社会の一員として、変化の激しい社会を生き抜くためには、自分の短所を改めつつ、自分の長所を生かしながら生活することが個性の伸長につながることに気付かせたい。そこで、本教材を通して、短所は自分の成長に関わる大きな伸びしろであることや、短所があるからこそ、長所にも気付くことができるということに気付かせ、個性を伸長しながらよりよい生活を送ることができる児童を育てたいと考え、本主題を設定した。

- 本学級には、友達に優しくできる子、運動が得意な子、発表が得意な子がおり、児童一人一人が様々な長所をもっている。しかし、自分の短所に目が行きがちであり、自分に自信がなく、発表や自ら進んで行動すること等に抵抗がある児童が多くいる。そこで、本学級の児童は現在どんなことができるようになりたいか、また短所をどのように改善しようとしているのか等を把握するために、事前アンケートを行った結果、それぞれ次のような回答が得られた。

質 問 内 容	肯定的回答	否定的回答
①できるようにになりたいことや、上達したいと思うことありますか。それは何ですか。	100% (32/32)	0% (0/32)
	・クラブ活動 (ソフトボール・サッカー・フットバスケットボール等) ・ピアノがうまくなりたい。 ・走るのが遅いから速くなりたい。 ・発表がたくさんできるようになりたい。 ・勉強ができるようになりたい。 ・字を綺麗に書くことができるようになりたい。	

②人より劣っていることはありますか。	91% (29/32)	9 % (3 /32)
それをどうしようと思っていますか。	努力し、克服する 84% (27／32) ・勉強を頑張る。 ・練習を頑張る。 ・できないことでも、たくさん練習する。 ・「上手になりたい」，「努力しようと思っている」等。 放っておく，何もしない 16% (5 ／32) ・放っておく。 →人それぞれ得意不得意があるし，めんどくさい。 ・別に運動が苦手でも私生活に影響なさそうだから。 →努力したことがない。	
③努力しようとしてもうまくいかなかったことはありますか。	84% (27/32)	16% (5 /32)
うまくいかなかったことが「ある」と答えた人は，そのときどんな気持ちでしたか。	・もう諦めよう。 ・悔しかった。 ・どうすればうまくできるのだろうか。 ・むなしい。 ・本当に上手になるのだろうか。 ・なぜ上達しないのだろうか。 ・辞めたい。 ・もうだめだ。	

- ・以上の結果から，上達したいことに対して，前向きな目標をもつことができていることが分かるが，91%の児童が「人よりも劣っていることがある。」と解答している。しかし，「それをどうしようと思いますか。」という問いに対しては，「上手になりたい」「努力しようと思っている」等が多い。「放っておく」と回答した児童もあり，自分の短所を改め，よりよい学校生活を送ろうとする態度が育っていない児童がいることも分かる。
- ・ほとんどの児童が努力が実っていないと感じており，「諦めよう。」「頑張ってもいい点は取れない。」といった後ろ向きな発言をする児童が多い。その他として，「努力をすることで字が上手になれるのだろうか。」「なぜ上達しないのだろうか。」という反応もあった。このことから，努力することの大切さに気付いたり，達成感を感じたりすることができていない児童が多くいることが分かる。自分の短所を補って，長所を生かそうという方法があることにも目を向けさせる必要がある。
- ・岡崎選手のように，短所を補い，できることを考え，努力するという力は，児童が社会の担い手として自律する上でとても大切な力である。指導に当たっては，その短所を補い，努力をすることのよさや，短所とどのように向き合っていけばよいかについて考えさせたい。

○ 本教材は，自分が「鈍足」であることを認めつつ，自分にできることを考え，努力をすることの大切さ，短所との向き合い方を考えさせることができる教材である。

指導にあたって，導入では，日頃の児童の頑張りを伝えつつ，今上達したいことは何なのかについて触れ，教材への方向付けをする。

基本発問では，岡崎選手にも，かつて「足が遅い」というコンプレックスがあり，プロサッカー選手になってからも，坂道ダッシュで女子大生に負けたり，チームメイトに足の遅さを指摘されたりして，自分の走る速さが遅いということを自覚する。そのときの岡崎選手の気持ちを考えさせる。

中心発問では，走るのが遅いことをコンプレックスに感じていた岡崎選手が「足が遅

くてよかった」と言ったのはなぜか考える。決して自分はだめな選手だと思うことなく、サッカー選手として成長するために、自分にできることを徹底的に考え抜いた。岡崎選手の気持ちを考えることで、個性の伸長について考えを深める。また、「短所とはどんなものだと思いますか。」と再度問うことで、導入で問うたときの変容を捉えさせるとともに、短所とはどういうものかという点について話し合う。そうすることで、短所とは、自分のいけないこととして捉えるものではなく、むしろ自分を成長させてくれるものであることに気付かせていく。また、短所とうまく付き合い、自分にできることを考えながら努力を重ね、一流のサッカー選手にまで上り詰めた岡崎選手の姿から、個性の伸長について考えさせたい。そして、話し合いを通して、短所を受け入れつつ、自分の長所を生かしながら生活することが、自分自身を成長させ、よりよい生活を送る上で大切であることに気付かせたい。

終末には、今までの自分と岡崎選手から学んだこと等を関連させながら振り返りを行い、個性を伸ばそうとする思いを温めて終わりたい。

5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21世紀型“スキル&倫理観”】においては、高学年の目標である「課題発見→解決→実践→分析力（評価）のスパイラルで、より高次の課題を解決していく子」（課題解決力）及び「少し手を伸ばせば出来る目標を立て、失敗しそうになっても、なんとか目標を達成しようと努力する子」（粘り強さ・やり抜く力）に関連している。

この内容項目は、各教科や常時活動などを通して、個々に長所を生かす場が異なるため、学校生活の多岐にわたって関連が見られる。学年としては今学期、運動会で応援団として活動を行った。また、修学旅行でも実行委員や、班長、室長等の役割分担をもうけた。学校行事に向けての練習が行われる中、それぞれの場面で長所を生かし、集団に貢献しながら活動することができた児童、短所と向き合い努力をすることができた児童の姿を見ることができた。本時ではそれらの場面を想起させながら振り返らせ、卒業式までに自分の長所をどんなふうに伸ばしていきたいかや、どんなふうに生かしていきたいかをイメージさせられる指導を行いたい。

6 ねらい

自分の短所を受け入れ、短所を補おうと努力することが、自己実現に結び付くことを理解し、努力を重ねることで自分のよさを積極的に伸ばしていこうとする心情を育てる。

7 準備物 写真 短冊 ワークシート 座席表

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)
導 入	1 短所、長所について話し合う。	○長所とは。 ・自分が自信をもっていること ・自信をもって人に見せられること。 ・人より優れていること。 ・自分のいいところ。 ○短所とは。 ・自分のだめなこと。 ・他の人よりも劣っていること。 ・人に見せたくないこと。 ・直したいこと。 ・自信をなくす。	○短所や長所を交流し合い、それをどうしようと思っているか意見を出し合うことで、教材につなげる。 ○児童が、導入と終末でどのような考えに変容したかが分かるようにする。

展開	2 教材「鈍足パンザイ！」の前段を聞き、話し合う。 3 教材後段を聞き、岡崎選手が短所を補おうと努力したことについて考える。 短所は長所に変わるのですか。 岡崎選手は、足が遅いままですよ。	足が遅いと感じていた岡崎選手は、自分のことをどう思っていたでしょう。 ・足が遅いから、サッカーが上手になれない。 ・日本代表になれないかもしれない。 ・すぐに解雇されるかもしれない。 ・女子大生に負けていて話にならない。 ・やっぱり僕は足が遅いんだな。 ・恥ずかしい。→チームに迷惑をかけている。 岡崎選手は、どんな気持ちで「足が遅くてよかった。」と言ったのでしょうか。 < A：短所のおかげ > ・足が遅いから、何の練習をすればよいか気付くことができた。 ・たくさんのゴールを決めるにはどうすればよいか、サッカーについて深く考えることができた。 ・短所があっても他で補えばよいということに気付くことができた。 ・短所のおかげで、自分がすべきことに気付くことができた。 ・欠点を認めることができた。 < B：サッカーを上達させようとする努力 > ・香川選手のように、自分のよいところを伸ばしてプレーしている選手がいることに気付いた。 ・選手として成長できた。 ・できることを増やそうとする努力することができた。 ・足の遅さをカバーするためにトレーニングを重ね、足が速くなることができた。 ・自分のよさを伸ばすことができた。 ・努力することができた。 短所とはどんなものだと思いますか。 ・短所を長所にすることができる。 ・短所があっても、他で補えば選手として成長することができる。 ・短所があっても諦めず、努力をすれば、自分の長所を伸ばすことができる。 ・短所があっても、長所を伸ばしていけば、もっと成長することができる。 ・短所を見つめつつ、自分にできることを考えて実行すれば、成長することができる。 ・短所があると、自分の長所に気付くことができる。	○足が遅いことをコンプレックスに感じている岡崎選手の心情をとらえる。 ○ワークシートに書かせることにより、岡崎選手の気持ちをじっくりと考えさせる。 ○座席表で見取り、意図的指名に生かす。 ○個性を伸ばさせるには何が大切か、よりよく力を伸ばすにはどうすればよいかについて考えさせる。 ★自分の短所を受け入れ、短所を補おうと努力し、伸ばしていこうとすることが、よりよい生き方や自己実現に結び付くことに気付くことができたか。
終末	4 振り返りを交流する。	○この授業で感じたこと、新しく気付いたこと、発見したこと、納得したことは何ですか。 ・短所は自分を成長させてくれる。 ・短所と向き合い、自分のいいところを伸ばしていきたい。 ・岡崎選手のように、短所があっても、いろんなことに挑戦したい。	○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について自分の考えをまとめさせる。 ○気持ちを言わせることで、今後の生活で生かそうという気持ちを高める。 ○過去の経験と岡崎選手から学んだことを照らし合わせながら発表させる。

9 板書計画

鈍足バンザイ！

岡崎選手の写真

子供時代からのコンプレックス。

足が遅いこと

坂道ダッシュ

勝ったのは女子大生

オマエ、なんかアシ遅えーなあ。

パク・チュホ選手の写真

ダッシュをする岡崎選手の写真

・足が遅いから、サッカーが上手になれない。
 ・日本代表にはなれないかもしれない。
 ・すぐに解雇されるかもしれない。
 ・日本代表になれないかもしれない。
 ・やっぱり足が遅いんだな。
 ・恥ずかしい。
 ↓ チームに迷惑をかけている。

「足が遅くてよかった。」

たくさんゴールを決めるには、どうすればよいか常に考えてきた。

今のぼくがあると確信している。

トレーニングに全力で取り組む。

↓

速くなることを実感。

挿絵

幸せ

のびしろ

・何の練習をすればよいか気付いた。
 ・サッカーについて深く考えることができた。
 ・短所は、他で補えばよい
 ・トレーニングを重ね、足が速くなることができた。
 ・努力することができた。
 ・トレーニングをして、足の遅さをカバーする。

・短所があっても、他で補えば成長することができる。

短所は自分を成長させてくれる。

○短所
 ・自分のだめなこと。
 ・自信をなくす。
 ・自信がないこと。

10 ワークシート

★この授業で感じたこと、新しく気付いたこと、発見したこと、納得したことなどを書きましょう。

自分の考えをもつことができた。

今日の授業で新しい発見があった。

友達の考えを聞いて、なっとくすることがあった。

鈍足バンザイ！ 氏名

○岡崎選手は、どんな気持ちで「足が遅くてよかった。」と言ったのでしょうか。

4 3 2 1

4 3 2 1

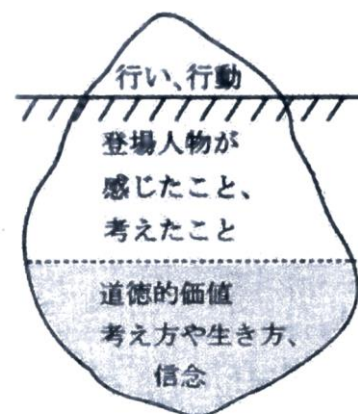
4 3 2 1

岡崎選手の写真

(6) 年 (1) 組

内容項目 A－個性の伸長

教材名 鈍足バンザイ！



【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	・「足が遅い」という短所を、他の部分で補おうと、努力をいとわなかった。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	・「足が遅い」という短所を受け入れ、一流のサッカー選手として成長するためにはどうすればよいか考え抜く。 ・足が遅い分、他の部分で補おうとサッカーについて考えることを通して、努力によって望ましい方向へ改めることができる。 ・短所を改めることで、日本代表に選出されるまでの選手に成長する。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	・短所があっても、他の部分で補ったり、長所を伸ばしたりすれば、成長することができる。 ・短所は、自分の成長に関わる大きな伸びしろなんだ。 ・短所があるからこそ、長所に気付くことができるんだ。 ・自分を伸ばす努力。 ・短所とは、自分を成長させてくれるもの。